

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	思いや意向を汲み取って支援に繋げる事は「個別ケア」の原点であるが、その認識については職員間に個人差が大きい。職員意識の統一の為の取り組みが期待される。	ご利用者様のニーズを汲み取って、スタッフ全員が個別支援につなげられるようにする。	ユニット会議やモニタリングの中でご利用者様のニーズを明確にする。介護記録などで全体へ情報共有し、支援へと繋げる。また、個別ケアの重要性など、ホーム内研修で行う。	12ヶ月
2	11	地域交流委員の発足が予定されている。軌道に乗ってきた地域との交流・連携を完成度の高いものとする為にも、委員会の頑張りに期待したい。	地域交流委員会を中心に、地域の行事に積極的に参加する。また幼稚園や保育所などと交流を持てる機会を作っていく。現在行っている清掃活動については継続して行う。	学校行事などの参加の御願いや、認知症の理解を深めていく活動を行う。その為には認知症サポーター養成講座ができるよう、スタッフも認知症サポーター養成講座を受講する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。